



# TOPICS

令和3年11月2日

燦キャピタルマネージメント株式会社

## 『月刊プロパティマネジメント』11月号への当社記事掲載のお知らせ

この度、不動産の投資・開発・運営にまつわる様々な話題を取り上げる不動産業界誌『月刊プロパティマネジメント』11月号（令和3年11月1日発行）に、HOT TOPICS として当社代表取締役である前田健司のインタビュー記事が掲載されましたので、お知らせいたします。

当社は、令和3年8月30日に、全国各地で商業施設の活性化事業や古民家等の再生事業を手掛けているサウンドプラン社との業務提携、また、令和3年9月6日には、全国各地で建築専用コンテナを利用した商業施設や宿泊施設等の不動産開発事業を手掛けているコンテナハウス2040.jp社との業務提携など、地域創生・活性化事業としての不動産流動化ビジネスにおいて、各事業会社と協働することで、当社子会社であるセブンスターの有する不動産特定共同事業法に基づく「不動産特定共同事業」のライセンス及び不動産クラウドファンディングプラットフォームを活用し、多くの小口投資家（主に個人）からの資金調達による多様なアセットの取得を推進し、ストック収入モデルの強化を図っております。

今回、これらの不動産クラウドファンディングプラットフォームを活用した地域創生・活性化事業への取り組みが注目され、本誌への掲載となりました。

### 【掲載号紹介】

『月刊プロパティマネジメント No.256（2021年11月号）』

<https://www.sogo-unicom.co.jp/property/mag/202111.html>

<<次ページ掲載記事>>

# HOT TOPICS

November 2021

## 燦キャピタルが地方創生の取り組み推進 クラファン事業参入、外部企業との連携強化



前田健司氏  
代表取締役社長

投資会社の燦キャピタルマネージメント(燦キャピタル)が、クラウドファンディングを活用して投資商品ラインナップを多様化させる。今年3月に子会社化した不特法事業者、セブンスターのプラットフォーム「セカンドライフ」を通じ、地方を含む全国を投資対象とした不動産クラファン商品を開発していく。これまでも地域金融機関と連携し、地方創生・活性化のスローガンを掲げて不動産ファンド事業に取り組んできた燦キャピタル。「クラウドファンディングを活用することで、個人を含め幅広い投資家に対し、老舗温泉旅館など特色ある投資機会を提供したい」と、代表取締役社長の前田健司氏は意気込みを語る。

今年中にも第1号のクラファン商品を組成、セカンドライフ上で投資家募集を開始する予定。商品1本あたりの金額規模は数千円から数億円程度を見込む。運用後の出口については、複数物件をバルクでREITに売却することも視野に入れており、実際にAM会社から引き合いを受けているそうだ。燦キャピタルでは、クラファン商品の投資案件盛り起こしや運営ノウハウ強化といった狙いから、さまざまな企業との業務提携も進めている。

その第1弾として8月30日、古民家の再生・ホテル転用、商業系のコンテンツ開発にノウハウをもつ不動産会社のサウンドプランと業務提携契約を締結した。同社は造り酒屋の建物を再生したホテル「NIPPONIA 出雲平田 木綿街道」(鳥根県出雲市)や、小学校の建物を利用した観光商業施設「北野工場のまち」(神戸市中央区)などの実績をもつ。

9月6日には、コンテナハウス設計・製造・販売のコンテナハウス2040.jpと業務提携契約を締結した。「コンテナハウスはデザイン性や耐久性に優れ、工期の短さも魅力。商業店舗やホテル、オフィスなどあらゆるアセットタイプに対応し、クラファン商品の本数拡充で有利に働く」(前田氏)。

また同月9日、地方自治体向けにWi-Fi敷設事業を手がけるウェルソックと包括合意契約を締結。自治体との関係強化による案件発掘を図る。「Wi-Fi環境の整備により、ワーケーションに対応する形で物件の付加価値を高めるのも面白い」(前田氏)。

今後も強い差別化要素を持つ企業との提携は積極的に検討する方針で、目下新たな提携に向けた動きも進行中だという。

### 燦キャピタルマネージメントと業務提携する企業が手がけた物件



ホテル「NIPPONIA 出雲平田 木綿街道」



観光商業施設「北野工場のまち」



コンテナハウス型撮影スタジオ「TRadBox」  
(愛媛県松山市)